

保幼小中一貫教育のメリット

今回は、保幼小中一貫教育の実現によるメリットについて、紹介します。

保幼小中一貫教育は、保育所・幼稚園・小学校・中学校が一体となって15年間の子どもの教育を進めていく取り組みです。

そうしたことにより、学校・子ども・教員・家庭、地域にどのようなメリットをもたらしたかを先進校の事例も含めて紹介します。

<学校>

- ① 同じ教育目標のもと、「めざす子ども像」を共有し、系統的なカリキュラムに基づく教育の実践によって、学力の向上に取り組むことができた。
- ② 校種間の円滑な接続や連携が強まることで、途切れることのない系統的で特色ある教育実践に取り組むことができた。
- ③ 学校園所が一体となることで、校種間の強くなったつながりのもと、現在、課題となっている不登校やいじめの解決等に強力に取り組むことができた。

<子ども>

- ① 保育所・幼稚園から小学校・中学校への進級・進学に対する不安が減少した。
- ② 異校種・異学年の児童・生徒の交流が深まった。
- ③ 上級生は下級生の手本となろうとする意識が、下級生は上級生への尊敬・あこがれの意識が高まった。

<教員>

- ① 校種間で、共同して行う取り組みや実践が増えた。
- ② 異校種教員間での協働意識が高まり、お互いの良さを尊重する意識が高まった。
- ③ 長いスパンで教育課題に対峙できるため、余裕をもった取り組みができた。

<保護者・地域>

- ① 保護者同士の関係が広がり、子どもが安心できる生活環境を保障できるようになった。
- ② 学校が一体となることで、地域で子どもを育てていく意識が高まった。
- ③ 学校を支援する組織団体と一体となった支援体制が、整備・充実したものになった。

以上のことがメリットとして挙げられます。今回紹介した内容は、一部分のものです。

もちろん違った側面からの議論もあります。また、デメリットや課題に関する議論もあります。

合同避難訓練 開催しました。

令和3年11月5日（金）に保育所・幼稚園・小学・中学校の合同避難訓練が開催されました。
今回は、震度7の地震が発生し大津波警報が発令されたことから、駅上広場に避難する訓練です。



今回の合同避難訓練は田尻町安全安心まちづくり推進局、教育委員会事務局も参加して行いました。
避難時には、まちの皆様のご協力もあり、ケガや事故もなく無事に避難訓練を実施することができました。
ありがとうございました。

これを機に、保育所・幼稚園・小学校・中学校の交流をさらに充実してまいります。